

平成24年度

郡上山づくり構想に基づく施策の実施状況報告書



平成25年7月
郡上市役所農林水産部林務課

【 目次 】

はじめに	P 1
. 平成 24 年度の総括	P 4
. 基本的施策ごとの実施状況	P 6
1 . 災害に強い山づくり		
2 . 多様性のある山づくり		
3 . 快適な森林空間づくり		
4 . 木材資源の循環		
5 . 森林資源の利用促進		
6 . 山を支える人づくり		
7 . 地域を支える人づくり		
8 . 林業を支える人づくり		
資料 郡上市の森林・林業	P 2 1

はじめに

郡上市では、平成22年3月に郡上市の森林・林業の長期ビジョンである『郡上山づくり構想』を策定しました。

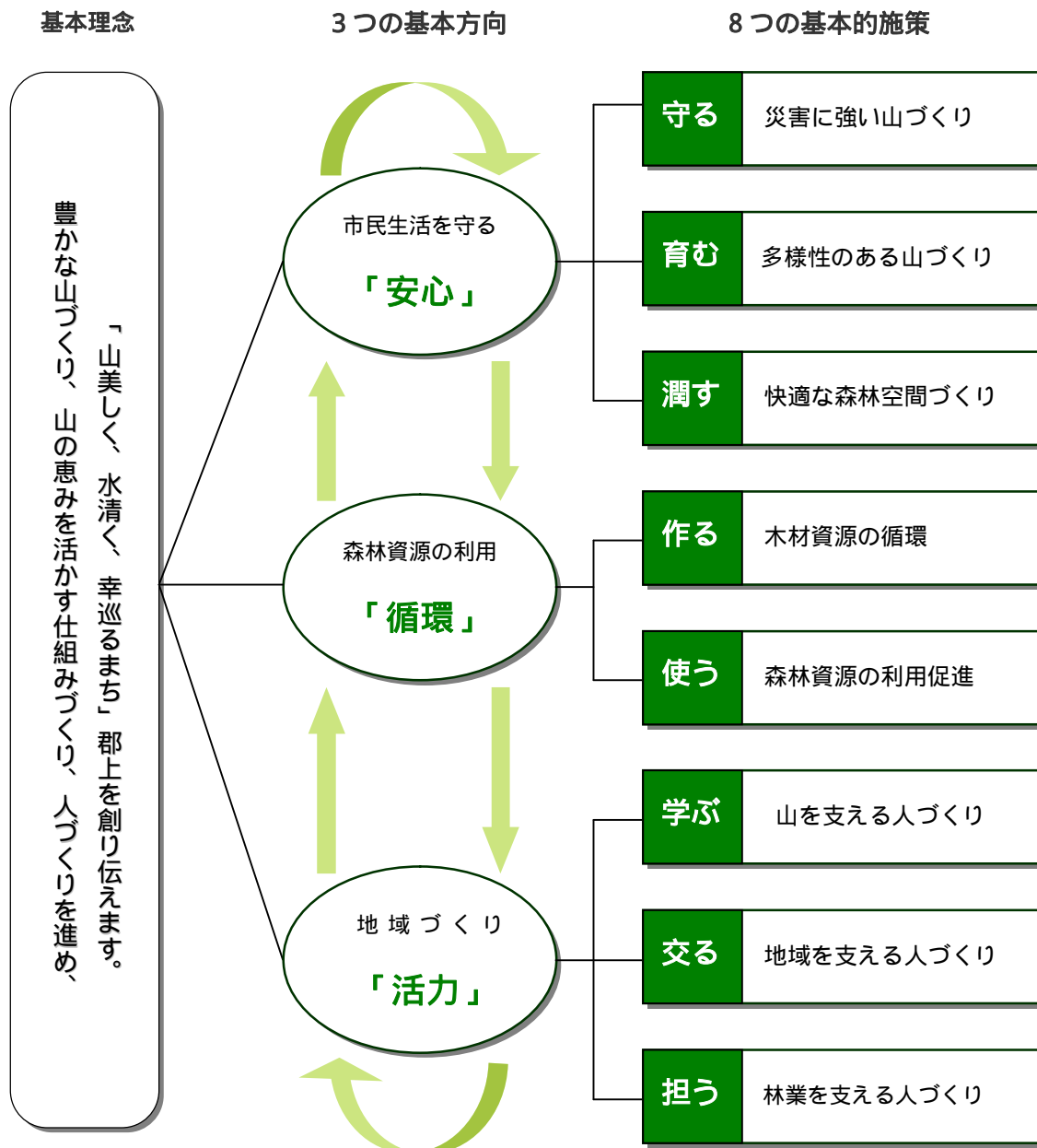
構想では、「山美しく、水清く、幸巡るまち」郡上を創り伝えることを基本理念とし、森林整備、木材利用、人材育成の3つの観点から施策の方向性と推進内容を示しています。

平成24年度も構想で示す基本方向に従って市民、関係団体の皆様、県と協力して山づくりを推進しましたので、その内容を施策ごとの実施状況として報告します。



『郡上山づくり構想』で定める基本方向と基本的施策

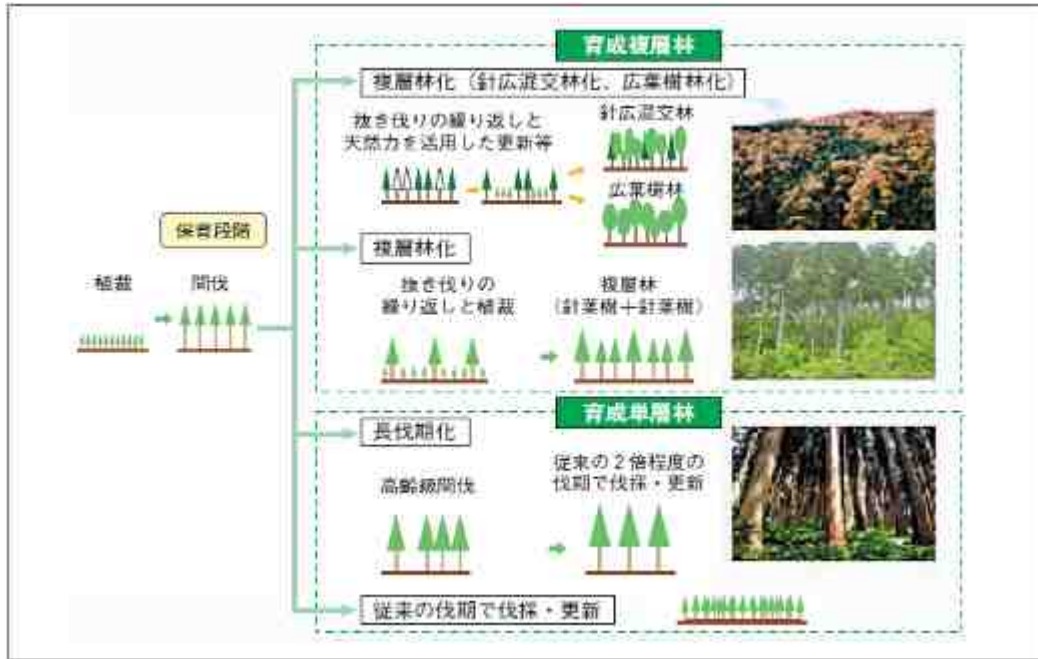
< 施策体系 >



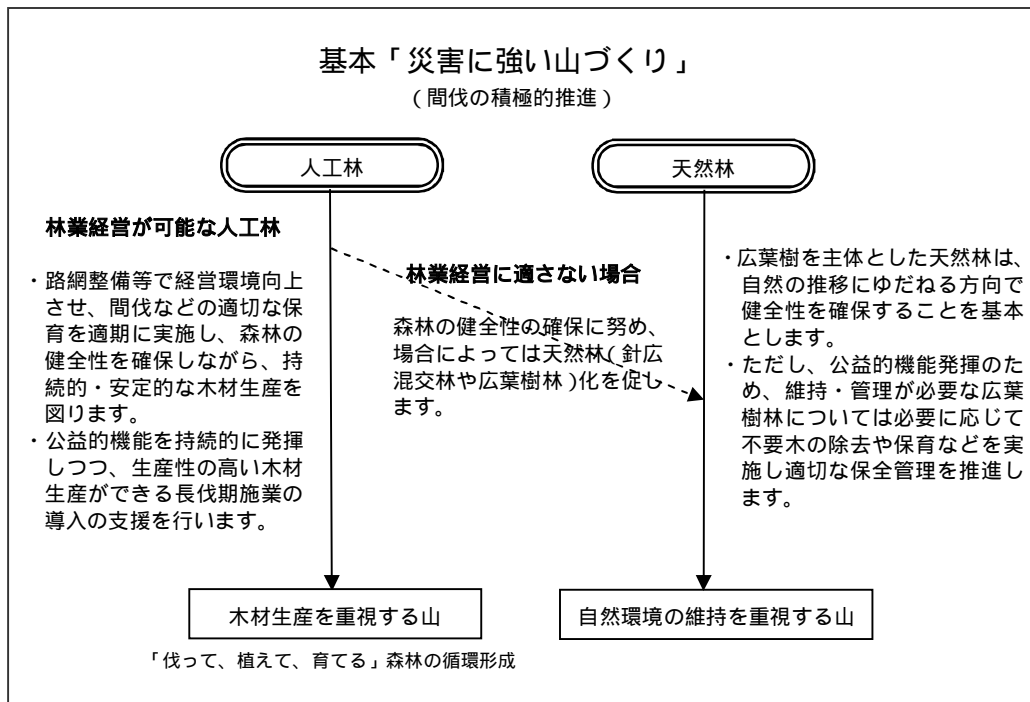
郡上山づくり構想では、豊かで美しい山を実現するために基本理念に基づく3つの基本方向、8つの具体的施策により山づくりを進めることとしています。

多様な山づくりの推進

森林構成や利用目的に応じた多様な山づくりを推進します。



森林整備の基本方向



平成 24 年度の総括

平成 24 年度は、前年度に改正された「森林法」を受け、適切な森林施業を確保するための措置や無届伐採に対する伐採中止命令・造林命令が新設されるとともに、森林所有者を把握するための届出制度等が義務付けられました。また、持続的な森林経営を確保するため、面的まとまりのある森林を対象に施業集約化や効率的な路網整備を進める「森林経営計画制度」が始まりました。

市では、こうしたなか郡上市森林づくり推進会議において「皆伐施業のガイドライン検討部会」、「ゾーニング検討部会」を設け、皆伐対策や地域の特性に応じた森林づくりの必要性などについて検討しました。事業としては、新設されました「清流の国ぎふ森林・環境基金事業（森林・環境税）」を活用して、奥山の間伐、里山整備や鳥獣害対策、担い手育成などを実施しました。

また、国内最大手の製材企業である中国木材株式会社と白鳥町に製材工場を立地する協定を結びました。

そのほか、昨年度に引き続き、木材の活用促進に積極的に取組み、木の駅プロジェクトへの活動支援や、薪ストーブ購入や郡上市産材住宅建設への補助を進めました。さらに、みどりの祭りや植樹会などのイベントを開催して、森林の大切さの普及・啓発に努めました。

皆伐施業のガイドライン検討部会の設立

- ・ 24 年度に郡上市森林づくり推進会議において『皆伐施業のガイドライン検討部会』を設立し、市内で増加している大規模皆伐による森林機能の低下、災害の発生を防ぐため、皆伐の規模や植栽に関するガイドラインの検討や現地視察を行いました。



森林経営計画制度の開始

- ・ 森林法の改正により、24 年度から森林経営計画制度がスタートしました。この計画制度により一体的なまとまりを持った森林において、計画に基づいた効率的な森林の施業と適切な森林の保護を通じて、森林の持つ多様な機能を十分に発揮されることが期待されます。



郡上森づくり協同組合の設立

- ・ 郡上地域の建設業および林業の活性化を図るために、市内建設業者 6 社が「郡上森づくり協同組合」を設立しました。



ニホンジカ対策の推進

- シカが増えすぎて被害が多発しているため、森林・環境税を活用して、狩猟中に個体数調整を実施しました。また、前年度に引き続き、捕獲隊へ有害鳥獣捕獲奨励金を交付して被害対策に努めました。結果、年間で1,577頭のシカが捕獲されました。



地域展開型森林づくりプロジェクト事業

- 白鳥町阿多岐地区で「郡上地域森林づくりプロジェクト（阿多岐）」を開始しました。郡上地域の先導的な森林整備モデル団地として、生きた森林づくりを「林健協働」の取り組みとして推進していきます。平成25年度より本格的に森林整備および、路網開設に取り掛かる予定です。



郡上市に大手製材工場

- 国内最大手の製材企業である中国木材株式会社が中部圏では初めて、郡上市に進出し、市内林業業者と協調して白鳥町内に製材工場を立地する協定を郡上市と締結しました。平成25年度着工、平成26年度下期に創業予定であり、今後、大規模な製材用材の需要が見込まれます。



木の駅プロジェクト講演会

- 郡上学の一環として、「木の駅プロジェクト」の講演会を開催しました。木の駅プロジェクトの第一人者である澁澤寿一氏、丹羽健司氏の講演のほか高鷲町、白鳥町での取り組み事例の発表が行われ、約70人が参加しました。



里山整備モデル地区事業

- 郡上の里山づくりのモデル地区を整備することにより、里山整備の効果や重要性の周知を図るとともに、里山の保全、活用を目的として「里山整備モデル地区事業」を実施しました。24年度は明宝気良地区で植栽、間伐などを実施しました。



．基本的施策ごとの実施状況

8つの基本的施策ごとの実施状況は次のとおりです。

守る

1．災害に強い山づくり

間伐の積極的推進

間伐の推進

平成24年度の郡上市全体の間伐面積は1,976haで、その内の851haの間伐に対し、国、県の補助に上乗せをして助成を行いました。間伐面積が前年度と比べ大幅に減少した主な原因としては、国の間伐補助施策が切捨間伐から利用間伐へ移行したことが考えられます。利用間伐に適さない森林については、森林・環境基金事業を利用して201haの切捨間伐を実施しました。

(造林推進事業、森林・環境基金事業)

実績	単位：ha			
年度	H21	H22	H23	H24
間伐	3,093	3,078	2,629	1,976
うち利用間伐	132	200	524	568
うち補助対象面積	2,186	1,946	1,403	851

伐採届、補助実績より



間伐状況（八幡町美山地内）

森林整備事業の実施

植林、保育など森林整備に関する事業に対して国、県の補助に上乗せして助成を行いました。(造林推進事業)

施業	H22 実績	H23 実績	H24 実績
植林	25.21ha	16.07ha	18.29ha
下刈り	83.31ha	72.68ha	81.61ha
雪起し	42.14ha	28.52ha	46.83ha
除伐	55.23ha	59.24ha	27.84ha
枝打ち	131.82ha	58.33ha	48.74ha



下刈り状況（白鳥町野添地内）

違法伐採の禁止と伐採跡地の確実な更新

伐採届に対する指導

地域森林計画の対象になっている森林の伐採について、24年度は209件の伐採届（森林法第10条、15条）を受理し、届出者に対して伐採方法、造林方法等について指導を行いました。

伐採跡地の調査

皆伐跡地の植生状況調査のため、7月から11月にかけて県・市担当者が市内6地域、23箇所の3ha以上の皆伐跡地を調査し、『皆伐跡地調査報告書』を作成しました。



伐採跡地調査箇所

林地開発に対する指導

1haを超える開発申請2件に対して、許可を出す過程で県と共同で担当者が現場に出向き指導を行いました。

保安林と治山事業

保安林

保安林内間伐届出書を81件受理し、届出者に伐採方法、造林方法等について指導を行いました。

治山事業の実施

市内において、復旧治山事業など県が主体となり37箇所が施工されました。これにより現在、市内の山地災害危険地区治山工事着手率は65.3%となりました。



予防治山事業(明宝江古瀬地区)

治山事業実施状況

事業名	H22実績	H23実績	H24実績
復旧治山事業	5箇所	6箇所	7箇所
予防治山事業	4箇所	10箇所	13箇所
奥地保安林保全緊急対策事業	2箇所	2箇所	2箇所
東海北陸自動車道土砂流出対策事業	-箇所	-箇所	4箇所
県単治山事業	1箇所	5箇所	9箇所
集落環境保全整備事業	1箇所	2箇所	2箇所
	13箇所	25箇所	37箇所

森林整備の考え方

森林経営計画制度の開始

森林法の改正により、24年度から森林経営計画制度がスタートし、42件、7,421haが認定されました。また、森林整備地域活動支援交付金事業を活用して森林経営計画作成の促進に関して助成しました。（森林整備地域活動支援交付金事業）



森林経営計画制度説明会

経営計画実績

	H24
認定件数	42件
面積	7,421 ha

森林整備地域活動支援交付金事業実績

内容	H22	H23	H24
協定数	51件	17件	10件
対象森林面積	17,951ha	29,775ha	16,581ha

ゾーニング検討部会による検討

郡上市森林整備計画で、森林を水源涵養機能と保健文化機能に区分（ゾーニング）を行い、ゾーニングごとに今後の森林づくりをどのように進めていくのか、目指す方向をわかりやすく示しました。



ゾーニング検討部会

森林情報の整備

伐採届のデータ化

159件の伐採届を岐阜県の県域統合型GISに登録することで、施業履歴のデータベース化につとめました。

所有者届出制度の運用

森林法の改正により、平成24年4月以降、森林の土地の所有者となった方については市への事後届出が義務付けられました。平成24年度は101件の届出を受理しました。

境界明確化事業の推進

森林境界が不明確なため森林整備が進んでいない森林において、森林施業地の集約化の拡大を図るため2件24haの境界明確化を行いました。（森林整備地域活動支援交付金事業等）

	H22	H23	H24
境界明確化実施面積	94 ha	17 7ha	24 ha

居住地周辺の山の保全

居住地周辺の整備

【里山整備モデル地区事業】

24年度から創設された里山整備モデル地区事業を活用し、明宝地内で里山整備を行いました。この事業は里山の再生や活用に積極的に取り組むことができる自治会等が行う里山整備に対して助成するもので、里山の保全活動を通じて市民や観光客に対して、里山整備の重要性や効果を広く周知することが期待されます。

実績

	H24
申請件数	1件（明宝）
整備面積	5.64ha
整備内容	植栽・間伐・枝打ち・竹林整備・作業歩道・看板設置



明宝地内整備状況

【小規模森林整備事業】

面積が小規模であることなどから、国県の補助事業の対象とならない居住地周辺の森林整備に対し8件、5.3haに助成を行い景観の保全と鳥獣害対策を図りました。申請者が間伐や枝打ちを実施した林内は、枝がはって暗かったものが実施後には日が差し込むようになって周囲の景観も改善されていました。

小規模森林整備事業 実績

内容	H22	H23	H24
申請件数	11件	18件	8件
間伐・枝打ち	4.6ha	7.9ha	5.3ha



整備状況（明宝地内）

苗木植栽への支援

面積が小規模であることなどから国・県の補助事業の対象とならない公共用地等の緑化に対して、緑の募金事業を活用して6件の緑化事業のために必要な苗木の配布支援を行いました。



郡上高校の桜植栽状況

鳥獣害対策

鳥獣害対策の推進

【調査対策】

森林・環境税を活用して5地域10箇所にセンサーカメラを設置し、野生動物の生息生態調査を行いました。調査結果をもとに各地域で報告会を実施しました。



調査報告会状況（美並町）

【捕獲対策】

ニホンジカが増えすぎて被害が多発しているため、森林・環境税を活用して、狩猟中にニホンジカの個体数調整を実施しました。また、その他の有害鳥獣については、前年度に引き続き、駆除隊へ有害鳥獣捕獲奨励金を交付して被害対策に努めました。結果、年間で2,424頭の有害鳥獣が捕獲されました。

（【森林・環境事業】ニホンジカ捕獲事業・有害鳥獣捕獲奨励金事業）

また、狩猟免許を所持していなくても、わな捕獲の手伝い（見回り、エサやり）ができる、わな補助者の制度を活用し、免許所持者を中心に集落単位での有害鳥獣捕獲体制づくりを推進しました。

有害鳥獣年間捕獲数

内容	H22	H23	H24
イノシシ	1,731 頭	230 頭	459 頭
シカ	966 頭	1,370 頭	1,577 頭
サル	329 頭	182 頭	245 頭
カラス	83 羽	59 羽	143 羽
クマ	3 頭	0 頭	0 頭
合計	3,112 頭	1,841 頭	2,424 頭

【防除対策】

電気柵、檻に対して助成する防除事業や、狩猟鳥獣を食材にするジビエの取組み、犬による追い払い「モンキードッグ」の育成などが進められました。

(郡上市有害鳥獣対策地域力支援事業・
モンキードッグ育成事業)



モンキードッグ認定式

地域別被害額（農作物） (単位：千円)

地区名	H22	H23	H24
八幡	45,610	11,045	16,415
大和	13,790	6,659	6,991
白鳥	20,985	4,086	4,472
高鷲	16,116	3,668	4,968
美並	9,925	4,594	11,215
明宝	14,857	5,671	10,204
和良	8,272	2,357	13,189
計	129,553	38,080	67,454

利用の促進

環境保全林「粥川の森」の改修

市民と森林のふれあいの場である美並・粥川の森の施設において一部老朽化が進み、利用面安全面での機能が低下している個所がみられたため、森林環境税「里山林整備事業」を活用して作業歩道等の施設改修を実施しました。

(里山整備事業)



粥川の森 遊歩道

団地化の推進と機械化

地域展開型森づくりプロジェクトを阿多岐地区で開始

郡上地域森づくり協議会により、白鳥町阿多岐地区の境界明確化、森林整備、路網開設、木材生産、および人材育成を行うため「郡上地域森づくりプロジェクト（阿多岐）」が開始されました。

民間事業者と森林組合との連携による森林施業の新たな取り組みとして期待されます。



座談会開催状況（阿多岐地区）

高性能林業機械の導入

効果的な森林管理に欠かせない高性能林業機械の導入が進みました。24年度には市内でハーベスタ1台をリース、プロセッサ1台が購入されました。これで市内の高性能林業機械保有台数は26台となりました。



高性能林業機械

路網の整備

林内路網の整備

間伐材等の森林施業に欠かせない林内路網の整備を行いました。

「白尾～鷲見線」をはじめとした林道を6,610m開設するとともに、作業路の開設は、事業者が行う加速化事業分も含めると35路線 13,167mが開設されました。（道整備交付金事業、路網整備加速化事業）

内容	H22	H23	H24
林道の開設	2,509m	2,299m	6,610m
作業路の開設	28 路線 22,137m	54 路線 20,937m	35 路線 13,167m
林内路網密度	22.6 m/ha	23.1 m/ha	23.3 m/ha



林道 白尾～鷲見線

また、森林整備地域活動支援交付金事業を活用して作業道の補修を行いました。
(森林整備地域活動支援交付金事業)

森林の循環システムの構築

市有林の整備と活用

24年度は郡上市有林管理計画を定め、保全管理や活用方法等の検討を進めました。八幡町ナカソレ市有林で取り組む『森林資源循環プロジェクト』では、24年度は、23年度に引き続き、森林文化アカデミーの協力によりコンテナ苗等による植栽を行いました。今後は、森林研究所の協力のもと、保育にかかるコストと生育状況を継続して調査していきます。また、天然更新の実証では、有用広葉樹の育成には初期成長の早いシロモジ等の除去が必要など、実証試験の結果も報告されており、今後、調査結果が期待されます。

実績

内容	H22	H23	H24
間伐(保安林事業分含)	225ha	85ha	3.8ha
搬出材積	2,812 m ³	605 m ³	0 m ³
植栽	本	950本	750本

森林資源循環プロジェクト

郡上市に多い奥山や急傾斜地などの木材生産林として条件の悪い地域での低コスト林業を検討するため、市有林で取り組んでいるプロジェクト



ナカソレ市有林 植栽状況

加工・流通体制の整備、商品の開発

加工・流通体制の整備、商品の開発

【施設整備】

市内のプレカット工場に県補助（林業・木材産業構造改革事業）により最新式のプレカット機械および、グレーディングマシンが整備されました。これにより郡上市産材品質の向上が図られ、今後、郡上市産材の利用拡大が期待されます。



プレカット機械

【経営強化】

岐阜県製材工場体質強化経営セミナーにも市内から2事業体から参加され、マーケティングや経営戦略に関する基礎知識を学びました。

郡上わりばしプロジェクト支援

郡上市内の主婦や林業関係者で結成された市民活動団体の「郡上わりばしプロジェクト実行委員会」が、ぎふ森林・環境税を活用して郡上市の木材で作った割り箸の普及活動を行いました。

公共施設の木造化・木質化の推進

公共施設等木造化・内装木質化への支援

市内の老人福祉施設（特別養護老人ホーム：アルプス）の内装木質化に対して県と市で助成を行いました。内装木質化によって、施設全体が木の持つ温かみと優しさにあふれる雰囲気になりました。



アルプス完成状況（白鳥地内）

（県産材需要拡大施設等整備事業）

木造建築の促進

郡上市産材の利用促進

郡上市産材の利用促進と市内への定住促進を図るため、『郡上市産材住宅建設等

支援奨励金制度』に取り組みました。この制度は、郡上の木を80%以上使って新築する場合などに10～50万円の奨励金を交付するもので50件の申請がありました。（郡上市産材住宅建設等支援奨励金事業）

内容	H22	H23	H24
申請交付件数	26件	42件	50件
郡上市産材80%以上使用	76%	80%	88%
新规定住につながったもの	50%	47%	42%



市産材住宅検査状況

森林資源の利活用促進

薪ストーブ購入補助制度の活用

23年度から開始した薪ストーブ購入補助制度で24年度の申請交付件数は40件ありました。（うちペレットストーブ1台）24年度末より事業施設（農業用施設・作業所等）も交付対象としました。

また、10月に薪のある暮らしフェアを開催し、薪および薪ストーブの普及啓発を行いました。

（森林資源活用事業）

	H23	H24
申請交付件数	44件	40件

本体価格が20万円以上のストーブを対象とし、本体価格の3分の1を助成



薪のある暮らしフェア

木の駅プロジェクトの始動

林地内の残材を整理することにより森林内環境を良好な状態にし、資源を有効活用すると共に地域内商店等の活性化を試みる『木の駅プロジェクト』が始動しました。

24年度は白鳥町、高鷲町の2地域で実施し、白鳥町26.4t、高鷲町43.9tの未利用材が搬出されました。

（森林・環境基金事業）



高鷲木の駅プロジェクト

学校教育との連携

森林環境教育の推進

市内7つのみどりの少年団へ助成金を交付して活動支援を行いました。

また、林業グループ、林業普及指導員、市職員が市内小中学校10校について林業体験や森林教室を7回行いました。



林業体験（高鷲町）

市民への普及・啓発

郡上市みどりの祭り開催

八幡町愛宕公園にて『第6回郡上市みどりの祭り』を開催しました。式典後、会場では郡上高校生による森のコンサートや、NPO法人ミスチーフファミリーによるチェンソーアートの実演が行われました。また、森林散策やログベンチ作り、森林散策、ネイチャークラフトが実施され市民が緑に親しみました。



ネイチャークラフト教室

林業グループ等団体の育成、強化

林業グループの育成、強化

市内で活動する林業グループへ助成金を交付して、活動の支援を行いました。また、各林業グループの活動や会議等に参加し情報や課題を共有しました。

（林業グループ活動育成等事業）



林業グループ総会

地域座談会の開催

森林づくり推進会議の開催

郡上市の森林づくりの方向性や具体的な推進課題を検討するため、市民、林材業関係者、行政により組織された郡上市森林づくり推進会議を開催しました。24年度は「皆伐検討部会」「ゾーニング検討部会」を設立し、皆伐施業のガイドラインの策定や、ゾーニングの基本的な考え方などについて協議し、市長に提言書を提出しました。



森林づくり推進会議

下流域との交流の促進

企業の森・上下流連携

平成20年に締結された県、市、ブラザー工業の3者協定に基づく企業の森活動を推進しました。この活動は、環境保全活動に関心の高い企業に市内森林において地域住民とともに森林保全活動に参画・貢献してもらうものです。

白鳥町の「ブラザーの森」における春と秋の植栽活動のほか、八幡町市島地内において間伐を実施しました。

また、岐阜市と協定を結ぶ「たずさえの森」では間伐3.8haと下刈1haが行われました。
(たずさえの森事業)



ブラザーの森植樹

ブラザーの森活動

間伐実施面積	2.25ha
植栽活動 4月	広葉樹 350本植栽
" 10月	広葉樹 350本植栽

長良川源流の森育成事業

郡上漁協主催のもと、日本一の「郡上鮎」を育む長良川の水源涵養と、「山から川へ、そして海へ」と続く源流部の森を育成し、豊かな生態系を維持・増進することを目的として、白鳥町六ノ里地内において広葉樹の植樹を行いました。24年度で3回目となり、約150名の方が参加されました。

地域資源を生かした交流

東京都港区との交流

みなと森と水ネットワーク会議参加自治体（郡上市ほか 47 自治体）の首長が集い、第 5 回みなと森と水サミットが東京都港区で開催されました。都市における国産材活用の促進と林業再生について力強いメッセージを打ち出し、地方自治体の連携による取り組みを全国に広く発信しました。

サクラ苗木植樹による被災地との交流

「郡上・桜守の会」による被災地支援活動に明宝中学校と郡上東中学校から 1 名ずつの生徒ほか 23 名が参加し、岩手県陸前高田市の津波到達点に 3 大桜（淡墨桜、荘川桜、臥龍桜）の苗を 12 本植樹しました。



植樹状況（岩手県陸前高田市）

山村文化の継承

猟師と漁師の里山保全プロジェクト事業

川を通じてつながっている山と海で働く人たちが森林について考える「猟師と漁師の里山保全プロジェクト」が開催されました。シンポジウムほか、里山講習、間伐体験を行い、3 日で約 80 名の参加がありました。



シンポジウム開催状況

郡上やまと獣肉利活用協議会

平成 22 年度に発足しました郡上やまと獣肉利活用協議会が ジビエ料理試作会や研究会などを開催し、今後の普及活動などの検討を行いました。



ジビエ試作会

雇用環境改善への支援

チェーンソー講習会の開催

白鳥町、高鷲町で、森林所有者を対象にチェーンソー講習会が開催されました。これは森林・環境税を活用した「木の駅プロジェクト」の一環で、受講者はチェーンソーの使い方などの講義を受け、近くの民有林で実習を行いました。



チェーンソー講習会

森林技術者の育成と技術の継承

新規就労者の育成、支援

林業側と建設業側が協働して森林づくりを進める「林建協働」の取り組みが進められました。24年度は建設業協会と森林組合、市及び県の4者が協力して、将来を見据えた郡上地域の健全で豊かな森林づくりの推進を図ることを目的とした「郡上地域森づくり協定書」を締結しました。



伐採・搬出作業

郡上森づくり協同組合の設立

郡上地域の建設業および林業の活性化を図るために、郡上建設業協会に所属する6社が「郡上森づくり協同組合」を設立しました。今後は、森林整備、路網整備、施業集約化関連事業の共同受注および、そのあっせん等を行っていく予定です。

人材育成研修への参加

林業に関する担い手の育成のため、県内で各研修が行われました。24年度までに市内7つの林業事業体から施業プランナー研修に10名、フォレストワーカー等研修に10名、森林作業道作設オペレーター研修に6名の方が受講されました。

林業・緑化功労者表彰

林業や緑化活動に長年貢献したことが認められ、郡上市から2名が表彰を受けられました。市長面談では、これまでの活躍に対するお礼と今後の活躍について期待が寄せられました。

岐阜県緑化功労者表彰「知事表彰」 第50回 岐阜県林業経営コンクール	1個人
「岐阜県知事表彰 個人の部最優秀賞」	1個人



受賞者の市長面談

資料 郡上市の森林・林業

- 1．森林の概況
- 2．間伐実施状況
- 3．県内他市町村との比較
- 4．林業・木材産業の動向
- 5．林業の担い手等の動向

1. 森林の概況

市総面積の約 9 割が森林 表 1

森林の 97%が民有林で、うち 9 割が個人の所有する私有林 表 2

民有林人工林の蓄積量は 15,192 千 m^3 で資源が充実 表 3

人工林の主要樹種は南部地域はヒノキ、北部地域はスギの割合が高い

- 美並・和良地域の人工林面積の 8 割弱がヒノキ
- 白鳥・高鷲地域の人工林面積の 8 割強がスギ
- 市全体では、スギ、ヒノキ人工林面積の割合はほぼ同程度

人工林の 54%が間伐対象林分 (3~9 齢級 = 11~45 年生) 表 4

[表 1] 総土地面積に占める森林の割合

単位：ha

区分	総土地面積	森林	農地	その他	森林率
郡上市	103,079	92,468	1,739	8,872	89.7%

[表 2] 所有形態別森林面積

単位：ha

区分	民有林		国有林	合計
	私有林	公有林		
面積 (割合%)	82,050 (88.7)	7,737 (8.4)	2,681 (2.9)	92,468 (100.0)

[表 3] 民有林人工林・天然林別蓄積量

単位：千 m^3

区分	人工林			天然林	合計
	8 齢級まで	9 齢級以上	計		
蓄積量 (割合%)	4,242 (20.5)	10,950 (52.9)	15,192 (73.4)	5,496 (26.6)	20,688 (100.0)

[表 4] 民有林人工林齢級別面積

単位：ha

区分	1~2	3~7	8~9	10~12	13~	合計
面積 (割合%)	168 (0.3)	12,597 (25.4)	14,197 (28.7)	15,852 (32.0)	6,746 (13.6)	49,560 (100.0)

2. 間伐実施状況

年間約 2,000ha の間伐を実施

郡上市は県全体間伐実施量の 5 分の 1 (約 20%) を実施

間伐実績

単位：ha

年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24
郡上市	3,247	3,456	3,236	3,023	3,093	3,078	2,630	1,976
県全体	12,971	15,836	14,559	14,428	14,373	14,284	14,000	12,400

(県)新緊急間伐推進 5 ヶ年計画

(県)間伐推進加速化計画

(県)間伐推進加速化計画(改訂)

3. 県内他市町村との比較

総森林面積 ha

1	高山市	200,647
2	郡上市	92,468
3	下呂市	78,401
4	揖斐川町	73,491
5	中津川市	53,976

民有林人工林面積 ha

1	郡上市	49,560
2	高山市	45,270
3	下呂市	33,336
4	中津川市	23,110
5	恵那市	20,737

民有林人工林蓄積 千m³

1	郡上市	15,192
2	高山市	11,432
3	下呂市	11,348
4	中津川市	6,396
5	揖斐川町	5,794

年間除間伐実施面積 ha

1	郡上市	2,702
2	高山市	1,871
3	下呂市	1,137
4	恵那市	996
5	揖斐川町	859

年間造林実施面積 ha

1	本巣市	48
1	下呂市	34
3	郡上市	29
4	高山市	14
5	関市	13

森林作業道等開設実績

1	高山市	74 路線(53,206m)
2	東白川村	60 路線(28,228m)
3	下呂市	55 路線(34,131m)
4	郡上市	54 路線(24,837m)
5	中津川市	29 路線(11,684m)

林道路線数

1	高山市	275 路線(598,001m)
2	郡上市	273 路線(599,414m)
3	下呂市	212 路線(519,441m)
4	中津川市	203 路線(509,843m)
5	関市	135 路線(236,080m)

森林技術者数

1	高山市	24 事業体(200人)
2	郡上市	18 事業体(190人)
3	中津川市	14 事業体(92人)
4	岐阜市	12 事業体(64人)
5	下呂市	11 事業体(77人)

平成 23 年度版 岐阜県森林・林業統計書より

4 . 林業・木材産業の動向

	H 2 1	H 2 3	備考（増加率）
皆伐面積・材積	63.9ha 16.6 千 m ³	63.5ha 11.2 千 m ³	99.4% 67.5%
択伐面積・材積	781.9ha 83.3 千 m ³	53.6ha 6.4 千 m ³	6.9% 7.7%
間伐面積・材積	2,106.6ha 163.4 千 m ³	1,764.7ha 175.7 千 m ³	83.8% 107.5%
うち利用間伐 （造林補助）	132.0ha 7 千 m ³	523.8ha 18 千 m ³	396.8% 257.1%
素材生産量	45 千 m ³	66 千 m ³	146.7%
木材流通量（2 市場）	31 千 m ³	41 千 m ³	132.3%
原木加工量	11 千 m ³	8 千 m ³	72.7%
住宅着工数（木造）	1 1 6 戸	1 2 3 戸	106.0%

5 . 林業の担い手等の動向

	H 2 1 上段：郡上、下段：県	H 2 3 上段：郡上、下段：県	備考（増加率）
林家数	4,484 戸 35,105 戸	4,320 戸 34,199 戸	96.3% 97.4%
林業経営体数 施業計画策定者含む	2,217 者 (H17)10,984 者	1,777 者 (H22)8,426 者	80.2% 76.7%
林業就業者数	(H17)175 人 1,282 人	(H22)290 人 2,113 人	165.7% 164.8%
林業総生産額	(H19)1,273 百万円 7,808 百万円	(H21)1,770 百万円 11,632 百万円	139.0% 149.0%
林道・作業道延長	+24.2Km 18.4 + 175.0Km	+24.5Km 18.4 + 175.0Km	
路網密度	22.6 m/ha 20.4 m/ha	23.1 m/ha 21.2 m/ha	